

SDGs とは？

目標 10 人や国の不平等をなくそう
 “世界中から不平等を減らそう”
 多くの国でかつてないほど格差が広がっています。
 2017年には、世界のもっとも豊かな1%の人が世界全体の富の約33%を持っていました。



SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) は、「誰一人取り残さない (leave no one behind)」持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標です。2015年の国連サミットにおいて全ての加盟国が合意した「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の中で掲げられました。2030年を達成年限とし、17のゴールと169のターゲットから構成されています。

3 すべての人に健康と福祉を
認知症地域支援推進員のつづやき No.58
焦りと寄り添いの狭間で



介護は当事者になってみないとわからない。多くの介護経験者の方から聞かれる言葉です。特に、認知症の方の介護では、同じ言動に介護者が上手く付き合い、介護者として気持ちに余裕を持つことが大切です。しかし、それが難しい。私自身介護関係者として仕事で対応できても、自分自身が家族を介護するとなると、介護は一気に難しいものとなりました。

認知症の方は、認知機能は低下しても感情の機能は衰えません。ですから、「ご飯はさっき食べたでしょう、もう早くして、何でできないの」。このような物忘れの指摘、強要、責める言葉は、本人を苦しめ戸惑いや悲しみの感情を生んでしまい、認知症が進んでしまうと言われています。

家族として介護をするうえでは多くの葛藤があり、介護の本にある「こうしたら良い」とはなかなかいかないものです。私の母に介護が必要になったら、気持ちの狭間で揺れる心を落ち着かせ、寄り添いの気持ちで接したいと思います。介護を通して、父から教わった最後の教えです。



私たちはここにあります！ 認知症地域支援推進員配置施設

● 地域包括支援センター	☎ 68-8941	● 複合施設 響	☎ 61-8500
● 利根町保健福祉センター	☎ 68-8291	● 介護老人保健施設もえぎ野	☎ 84-6081



男女共同参画ってなあに？ Part 108

6月23日から29日の1週間は「男女共同参画週間」です

今年の男女共同参画週間における内閣府のキャッチフレーズは、
無くそう思い込み、守ろう個性 みんなでつくる、みんなの未来。 です。



『男だから』『女だから』といった性別役割意識にとらわれず、個性と多様性を尊重し、自身の可能性を信じて誰もが生きがいを感じられる社会を実現していくきっかけとなるキャッチフレーズです。

男女共同参画社会の実現と女性活躍の推進は、日本国内のみならず世界共通の課題となっています。このような中、2023年6月24・25日にG7男女共同参画・女性活躍担当大臣会合が栃木県日光市で開催されます。

この機会に、家庭や職場、学校などで、誰もが個性と能力を発揮できる社会について考えてみませんか。

男女共同参画週間パネル展開催のお知らせ

町では、「男女共同参画週間」の期間中、利根町図書館1階玄関ホールにて「男女共同参画週間パネル展」を実施いたします。

日時 6月23日(金)～6月29日(木) ※月曜は図書館休館日 午前9時30分～午後5時
 場所 利根町図書館1階玄関ホール
 内容 男女共同参画週間パネル展など

男女共同参画週間って？

内閣府では「男女共同参画社会基本法」の公布・施行日である平成11年6月23日を踏まえ、毎年6月23日から29日までの1週間を「男女共同参画週間」として、様々な取り組みを通じ、男女共同参画について理解を深めることを目指しています。

● 問い合わせ先 政策企画課 政策企画係 ☎ 68-2211 (内線338)